

理 科

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

学 校 図 書

教 育 出 版

啓 林 館

採択基準 発行者名	東京書籍（新しい科学1～3）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例題を設けたあとに練習問題を配置し、生徒の実態に応じて知識・技能の定着と活用する力を育むよう配慮されている。</li> <li>・生徒の興味・関心を喚起できるよう写真やイラストを導入に配置することで、主体的に探究する力が育まれるよう工夫されている。</li> <li>・単元の終末で導入時の問いを振り返ることができるようにすることで、自己の思考の変容や成長を実感し、自己肯定感や効力感が高まるよう工夫されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 小学校の既習事項や他教科と関連する項目を下線で強調したり、全ての章でページ下部に問題発見から活用までの探究の流れが明確に示したりし、生徒にとり主体的な探究活動が進められるよう細かな配慮されている。</li> <li>(2) 単元の導入では、生徒の気付きや疑問を生じる問いや、写真資料等を配置することにより、興味関心を抱きつつ、主体的な探究活動を促すよう工夫されている。</li> <li>(3) 思考する場面において、対話例の一部を示したり注釈を効果的に位置付けたりし、生徒のつまずきへの支援とともに、対話的な活動を促すよう配慮されている。</li> <li>(4) 観察、実験ごとに、安全面や環境面に關わる注意事項をカラー分けしたマークで示し、注意喚起をすると共に安全意識が高まるよう配慮されている。</li> <li>(5) グラフ等の図版は、エバーサジェの観点を踏まえ色で区別するだけでなく、線種で区別したり、意味を言葉で示したりすることで、生徒が視覚的に理解しやすいよう配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 既習事項の連続性を踏まえ、生徒の科学的概念の形成を考慮した単元の配列を行い、授業で扱う事項が他単元とのつながりから発展的な広がりをもつよう工夫されている。</li> <li>(2) 問題発見や課題設定の場面では、働かせる理科の見方・考え方が示され、問題解決の過程を歩むことができるよう配慮されている。</li> <li>(3) 見開きの授業時数が1時間になるように編集され、育む資質・能力がページ下部の「探究のステップ」と対応するように示されていることで、探究の過程を確認しながら、つける力を意識して学習できるよう配慮されている。</li> <li>(4) 観察、実験においては、見開きの2ページ以内にまとめ、操作手順を縦一列に配列することによって手順が確認しやすいと共に、注意事項に着目しやすいようなカラーリングとマークで示されている。</li> <li>(5) 長野県内において身近なものを対象とした図や写真を多数掲載することで、日常生活と科学とのつながりを実感しやすくなるよう工夫されている。</li> <li>(6) 実験結果を基にキーワードを使用し、まとめを行える構成の工夫がされ、章末で示された記述例との比較により、評価に生かせるよう配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究の手がかりとなる考え方を対話例で示し、つまずきへの支援とするとともに意欲が持続するよう工夫されている。</li> <li>・文章は短文になっており、明快で簡潔な表現を使用している。やや読みにくい漢字にはルビをふるなど配慮がなされている。</li> <li>・A4 スリム版であり、タブレットを意識した大きさ及び、教科書本体の軽量化につながっている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">大日本図書（理科の世界）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察、実験の目的、着目点の明示とともに、分かりやすい実験の図の掲載により、知識・技能が身に付くようにしている。</li> <li>・観察、実験の次のページに、結果と考察の例文を示し、思考力や表現力を高められるようにしている。</li> <li>・知的好奇心を高めるような資料が掲載されており、問題解決しようとする態度が育まれるようにしている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) つまづきそうな問題には例題を設けて解説したり、章ごとに学習の確認ができる「章末問題」を掲載したりして、学習内容が定着するようにしている。</li> <li>(2) 探究の過程を「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「結果から考えよう」「振り返ろう」「話し合おう」という5つで表し、生徒が探究活動に取り組めるようにしている。</li> <li>(3) 「話し合おう」や「私のレポート」など、話し合う活動やレポート作成の活動を設定し、表現力を高められるようにされている。</li> <li>(4) 観察、実験の基礎技能を分かりやすく示すとともに、注意が黄色枠に黒字で表現しており、事故防止に配慮している。</li> <li>(5) 吹き出しの文章の改行位置を工夫したり、グラフの色や線種を変えたりするなどして、生徒が見やすく読みやすくなるようにしている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 単元配列が、観察、実験に適した時期、学年によって必要な器具が重ならないようにしている。</li> <li>(2) 各学年巻頭の「理科学習の進め方」で、探究の過程にそった学習の流れを示すとともに、各単元でその具体を示し、資質・能力の育成が図られるようにしている。</li> <li>(3) 単元末の「探究活動」や巻末の「自由研究にチャレンジしよう！」により、学んだことを活用して主体的に探究活動に取り組めるようにしている。</li> <li>(4) 配慮が必要な実験が、少量の薬品で結果が出るマイクロスケール実験として紹介され、安全面、環境面に配慮している。</li> <li>(5) 各単元の導入部分に、写真を多数用いた「これまでに学習したこと」を設け、既習事項と無理なく接続できるようにしている。</li> <li>(6) 単元末に、学んだことの活用場面として読解力問題を配置し、思考力や表現力が育まれるようにしている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らしの中の理科や、理科に関連した職業を、写真や図を用いて多数掲載し、理科に親しみがもてるようにしている。</li> <li>・観察、実験の結果が分かりやすく記載されており、知識・技能が無理なく身に付くようにしている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	学校図書（中学校科学1～3）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記載内容の厳選や結果・考察の例示などによって、知識・技能が身に付くようになっている。</li> <li>・科学的に探究する方法が巻頭で説明されている。</li> <li>・資料性が高い写真や図が掲載されており、学習意欲が高まるよう配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各単元冒頭に「ふり返ろう・つなげよう」、本文中に「ふりかえり」を記載し、既習事項を確認できるようになっている。</li> <li>(2) 課題に対して働かせる見方・考え方の例をページ右上部に掲載している。</li> <li>(3) キャラクターによる話合いの例示とともに巻末のホワイトボード紙面で対話活動を促している。</li> <li>(4) 観察、実験の手順を実物写真で示し、手元の操作と比較しやすくなるよう掲載されている。</li> <li>(5) グラフの線や矢印の種類を変えたりして、全ての生徒に見やすく分かりやすくなるようになっている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 端的に学習する構成により、実情に応じて、探究活動や学習内容の定着に時間を使えるようになっている。</li> <li>(2) 全ての授業時間において、課題解決のための見方・考え方の例が示されており、資質・能力が育まれるよう配慮されている。</li> <li>(3) 探究活動の重点項目は、タイトル色を変えるなど、重点項目を意識して学習できるようになっている。</li> <li>(4) 1学年巻頭に「実験室を使うコツ」として、観察、実験の注意事項を記載しており、安全面に配慮されている。</li> <li>(5) 観察、実験の手順は写真とともに見開きページで示し、指導に生かせるようになっている。</li> <li>(6) 章前後の「Can-Do List」に身に付ける資質・能力を明示し、生徒、教師ともにつける力を意識し学習できるようになっている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科の見方・考え方や育成する資質・能力が明記されており、探究の方法や過程が分かるようになっている。</li> <li>・必要なことを端的に学べるように学習内容が厳選されており、実情に応じた生徒の支援ができるようになっている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	教育出版（自然の探究 中学理科1～3）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要語句の見やすい表記による知識・技能の定着と、生活や社会に関する資料により活用力の伸長が図られるよう工夫されている。</li> <li>・「探究の進め方」を掲載し、各単元で具体的な流れとして表すことで、探究する力が育まれるよう配慮されている。</li> <li>・生徒の疑問による課題設定や発展的な内容の観察、実験の掲載により、主体的に取り組む態度が育まれるよう配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「これまでの学習」や「思い出そう」により、既習事項の確認ができるとともに、学習の一貫性や連続性が図られるよう配慮されている。</li> <li>(2) 「ハローサイエンス」による科学に関する話題提供や高校理科の内容を発展的に紹介することで、実生活との関係や学びの連続性を感じることができる。</li> <li>(3) 対話のモデルを予想や考察の場面に配置し、主体的・対話的な学びが実現されるよう配慮されている。</li> <li>(4) 観察、実験の手順を紙面の上から下へ分かりやすく掲載するとともに、注意を喚起するマークを使用し、安全に配慮されている。</li> <li>(5) 学年に応じた文字の大きさや重要語句の色、豊富な写真の掲載による資料性の高さにより、全ての生徒にとって見やすい教科書になるよう工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 問題や課題を分かりやすく記載することで、学習内容を明確化し、見通しをもった学習の指導に生かせる。</li> <li>(2) 学習内容のつながりを意識した単元配列が学年を越えて図られているとともに、小・中・高の内容の系統や他教科との連携が図られることで、単元の関係性や連続性に配慮されている。</li> <li>(3) 「考えよう・話し合おう・活用しよう」の配置により、主体的に自然事象に関わったり、対話的に考えを深めたりしながら学習が行えるよう配慮されている。</li> <li>(4) 注意を喚起するマークの使用や、物質や試薬の説明文の掲載により、安全面や環境面に配慮されている。</li> <li>(5) 大判の紙面への、実験の見開き表示やイラストや豊富な写真の掲載により、資料性が高まるよう配慮されている。</li> <li>(6) 「学力を定着させる4つのステップ」の掲載により、学びの振り返りとともに知識・技能の定着を図れるよう配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究の各過程を示すマークの配置により、科学的に探究するために必要な資質・能力が把握しやすくなるよう配慮されている。</li> <li>・学習の流れを追いやすいレイアウトにより、実験の流れや資料等を読む際の視点移動で迷わない。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">啓林館（未来へひろがるサイエンス）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がつまずきやすい内容には例題・練習問題を配置し、知識・技能の定着とともに、活用する力が高まるよう工夫されている。</li> <li>・「課題の把握」→「課題の追究」→「課題の解決」と展開が構成され、探究する力が育まれるよう配慮されている。</li> <li>・節末、単元末の科学に関する読み物・資料の掲載により、理科への興味や有用性を感じられるよう工夫されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 章の冒頭では、身の回りの疑問について予想する場面を設定することで「何がわかるか、できるようになるか」という見通しをもって学習できるよう工夫されている。</li> <li>(2) 探究のための見方・考え方のヒントを示し、自分の考えを自由に書き込む欄を配置することで、主体的な学びができるよう配慮されている。</li> <li>(3) 特に探究的に行いたい観察、実験に「探Qシート」を設け、自分の考えを書いてから話し合うことができるよう工夫されている。</li> <li>(4) 事故が起こりやすい実験は、安全を確認するステップを特別に設けるなど、安全性に配慮されている。</li> <li>(5) 各ページは図や写真が上部、本文は下部のレイアウトを基本とし、本文の流れを切るように図を配置しないなど、可読性、視認性が高くなるよう工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「生命」「地球」「物質」「エネルギー」の順に系統性を踏まえ単元を配列し、発達段階に応じた学習ができるよう配慮されている。</li> <li>(2) 他の教科や理科の単元間の関連や小学校・中学校・高等学校とのつながりを示すマークが明示されており、単元を越えて興味を広げられるよう工夫されている。</li> <li>(3) 興味・関心を高める導入写真や、自己のキャリア形成を意識させるコラムなどで興味を持たせるとともに、身近な問いをみんなで考察させる場面を設定している。</li> <li>(4) 環境に関する話題にマークを示し、興味を持てるようにしている。</li> <li>(5) 本文の説明とともに、大きくカラフルな写真や図が配置され、学習資料としての有用性が図られている。</li> <li>(6) 生徒が書きこむことのできる「探Qシート」や「探Qラボ」により生徒の記述を評価に生かせるよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮説に対する根拠を考えさせる部分を設け、探究する力を育てられるようにしている。</li> <li>・大きく資料性の高い図版の掲載により、興味をもって学習に取り組めるよう配慮されている。</li> </ul>